

説教余滴 2018年7月1日、お祭り、大好き、

サッカーの世界カップが行われています。

リーグ戦が終わり、日本チームは、辛うじてトーナメントに進み
ました。

戦前には、監督交代の騒動もあり、全敗で敗退、と言う予想も出
るほどでしたから、想定外の活躍と言えるでしょう。監督問題に
は賛否がありましたが、それも下火になるでしょう。しかし忘れ
ないでほしいのは、あの監督を推薦した方々の責任です。日本人
は忘れっぽい、と言われる。忘れたほうが良いこともあります。
赦されます。

忘れてならないことは、しっかりかみ締めて進みたいものです。

ところで、渋谷交差点の大騒ぎは、毎度お馴染みになってしまし
た。メディアが取り上げるから集まるのか、集まり騒ぐから取り
上げるのか、どちらでしょうか。

サッカーファン、サポーターは、あれほどたくさんいたのではし
ょうか。たとえその時だけでも、あれほど多くの人を惹き付ける魅
力を持っているスポーツ、という認識を新たにする好機でした。

国際組織が、イベント作りに長けていることにも驚きます。

渋谷駅前、大阪戎橋にたくさんの人たちが集まりました。これは
お祭りなんだ、と結論しました。

日本人は、静かに楽しむことを知り、外へ出て行き騒ぐことはあ
まり好まない、と考えてきました。年に数回、外で羽目を外すこ
とがあります。冠婚葬祭であり、神事が伴い、神々の許しを得て
神・人共に歌舞音曲、飲食を楽しむときです。それは、かつての村
の風俗であり祭礼の習慣でした。近代化の進む都市では、そうし
たことは廃れました。小学校の運動会は、村落挙げての祭礼と似
て、ご馳走を並べ立てた祭りでした。都会人化した人々は、心
の中に空洞を抱えているのではないのでしょうか。それを満たすのが、
ハチ公前交差点であり、戎橋筋ではないのでしょうか。私は、画面
で見る彼らに共感しています。